

～みんなで作る～

和光市 プロジェクト

和光市民の皆様へ

これまでの取り組み

和光市の「子育て環境向上」を目指し、市内の子育て環境に関する課題点・問題点を市民や市民の皆さまに認識してもらうこと、また、和光市のなかなか認知されていない意外な魅力を同じように認識してもらうことで、市内の子育て環境に対する現状把握・改善意識を持ってもらうことを目標に取り組んできました。



そこで、我々がご提案するのは…
市民参加型ワークショップ

アセット・マッピングの実施です！！

和光市の「子育て環境向上」を目指し、市内の子育て環境に関する課題点・問題点を市民や市民の皆さまに認識してもらうこと、また、和光市のなかなか認知されていない意外な魅力を同じように認識してもらうことで、市内の子育て環境に対する現状把握・改善意識を持ってもらうことを目標に取り組んできました。



そこで、我々がご提案するのは…
市民参加型ワークショップ
アセット・マッピングの実施です！！

アセットマッピングとは??



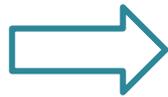
そもそも **アセット・マッピング**とは??

...地域に存在する様々な資源(施設)や人口分布を地図に落とし、多種多様な地図を作成してそれぞれのマップを重ね合わせてみることで、その地域における欠点や問題点、利点や魅力を発見する地域課題解決と活性化の手法です。今回はこれを市民の方と市民の皆さんと一緒に行ってもらうワークショップを開催したいと考えています。

メリット



学生



アセット・マッピング



市民



和光市
Wako City

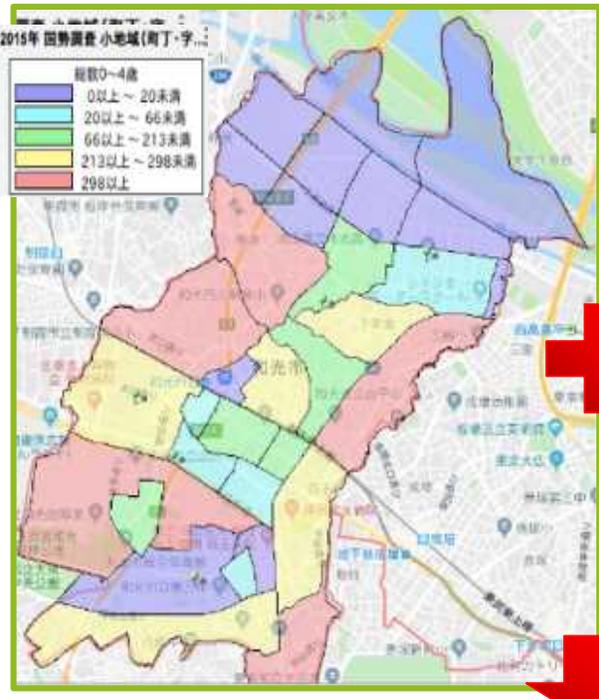
- 住んでいる地域の問題点を直接アウトプットする機会となる。
- 地域の意外な事実や魅力を発見できる。
- ゲーム感覚で、楽しく気軽に地域活動に参加できる。

- 政策立案上必要な地域の課題の盲点を発見できる。
- 市民の声を直接聞く機会となる。
- 事実に基づいて議論を行うため、根拠や論理性のある、より有意義な地域ワークショップになる。

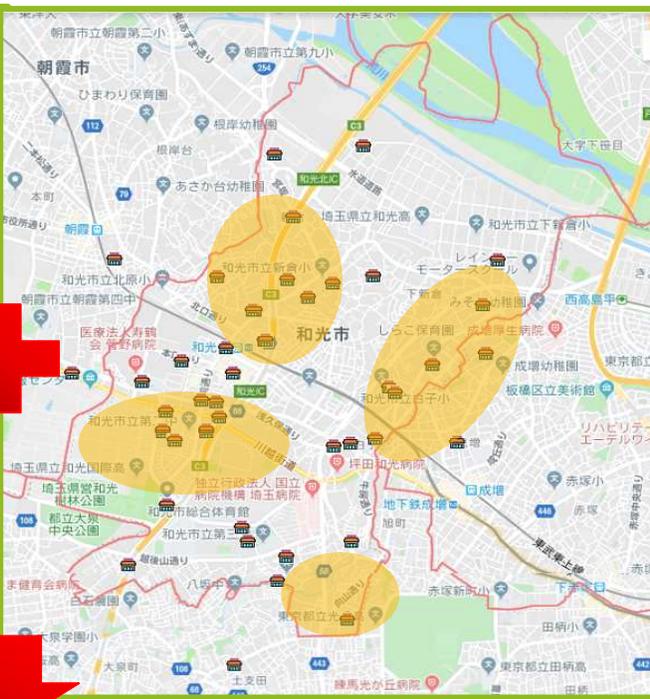
アセットマッピングとは?? (例)

…例えば、こんな発見がありました。

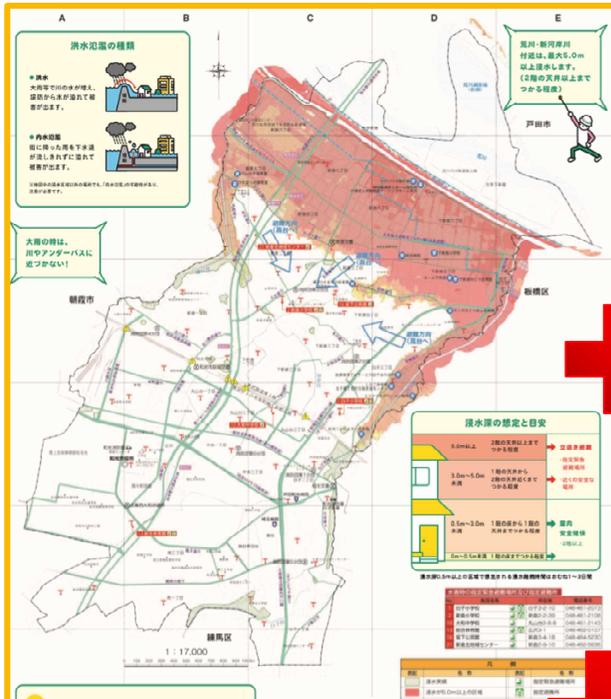
“0～4歳の人口分布図”
(統計GIS)



“授乳所の分布”
(ママパパマップ,統計GIS)



“洪水ハザードマップ”
(防災ガイド&ハザードマップ)



“市内避難所の分布”
(統計GIS)



0～4歳児の多い地域には授乳所がカバーされている。

洪水による浸水危険区域に避難所があることから、地震・洪水など災害によって避難すべき場所を理解する必要があることが分かる。



意外な? 魅力を発見!!



盲点となっていた問題・課題を見つけだす...そして改善へ

ワークショップの開催

最終的には、このアセットマッピングを和光市民の皆さんに向け実践して頂きたいと考えております。
その第一段階として、まずは、和光市に住む又は和光市に通勤する皆様がアセットマッピングを実施し、アセットマッピングの雰囲気や有用性を知っていただくために...

市民の皆さんにアセットマッピングを試して頂きたい

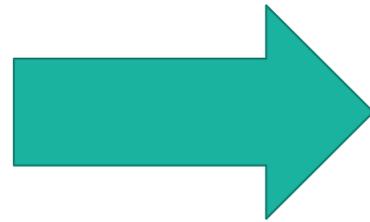
と思います。

そこで、アセットマッピング・ワークショップ開催

をご提案致します。

当初の予定...

市民の皆様に参加してもらい、対面式で一回きりのワークショップを開催。そこでアセットマッピングを行う。



コロナウイルスの影響を受けて...
完全オンラインでの開催に変更。
参加者それぞれでアセットマッピングをしてきてもらい、その結果を集計し、紹介しながら議論を行うワークショップに。



そこで・・・

完全オンライン・アセットマッピング・コンクール

の開催を考えています。

アセットマッピングテーマ 『和光市の子育て環境』

(内容)

- ①市民の皆様のご家庭・職場で、「和光市の子育て環境」をテーマにアセットマッピングを行なって頂きます(1~2か月間の間で行ってもらう)。約5~10組ほどのご家族の参加を想定しています。
- ②アセットマッピングして頂いた結果(回答)を学生が収集してまとめ、後日オンライン上(テレビ会議形式を想定)でワークショップを開催します。そこでは回答して頂いた意見を皆様に紹介しながら議論をすすめる、最終的にアンケートで投票を行い、最も優れた回答をしたご家庭を決定するコンクールを行います。投票にはアセットマッピングに参加していない市民、さらには市外の方も参加可能にします。

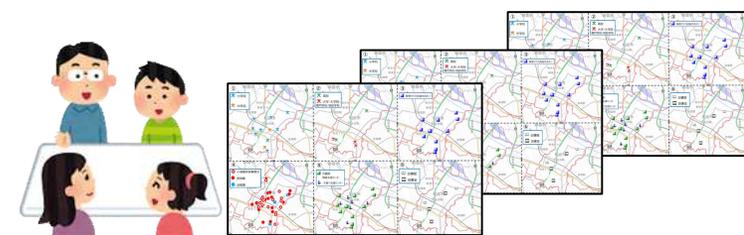
依頼①
アセット・マッピング
を、ぜひお試
ください!



ワークショップまでの手順①

手順①各家庭でアセットマッピングを行う

8月～9月頃まで



大学で作成した説明書に従ってアセットマッピングをして頂きます。
下のURLより、ファイルをダウンロードし、説明に沿って地図の印刷・アセットマッピングを行ってください。終了後にGoogle フォームにアセットマッピングの結果(回答)を記入し送信してください
詳しくは、URLから「和光市PJ2020」のファイルをダウンロードし、説明をご覧ください。
※「和光市PJ2020」のファイルは、市民が参加することを前提に、市民向けに作成しています。

プラス@ オリジナルの地図を作ってみましょう



説明書にも記載していますが、ご家族でアセットマッピングをする際には、材料となるオリジナルマップを作成してみてください。アセットマッピングの醍醐味は、地域の意外な発見をするキッカケを提供することです。ぜひ、ご自身の足で和光市を散策し、今まで知らなかった・和光市に馴染みがないととわからないようなオリジナルマップを作成してアセットマッピングに応用してみましょう！詳しくは説明書に記載しております。

Google Drive URL

<https://drive.google.com/drive/folders/1l-eSagSyosOgMsbo8NxPzv4DvMrdqDN-?usp=sharing>

手順②オンラインでアセットマッピングのコンクールを開催 10~12月のうちに開催予定

アセットマッピングについて皆さんの回答したアンケートを学生がまとめ、後日オンラインで発表の場を設け、意見の共有を行います。
 回答を発表していく途中で皆さんが“共感した意見”や“今まで知らなかった意見”をアンケートアプリ※を活用し、リアルタイムで意見を発信して(つぶやいて)頂くことで、より建設的な議論を目指します。最後には、アンケートアプリを用いて一番良いアセットマッピングを行ったと思うご家族に投票してもらい、最優秀家族を決定します。投票にはアセットマッピングに参加していない市民、さらには市外の方も参加可能にします。※p11に説明

洪水マップ
赤 危険

保育園立地場所

		保育園
	保育園	
		保育園

小学生の人口分布
多 赤⇄青 少

小学校立地場所

		小学校

不審者出現場所

		不審者
不審者		

公園

公園		
		公園
公園		

Aさん一家



危ない！洪水しやすい場所に保育園があるぞ！！

Bさん一家



小学生が多いところに小学校が立地してる！小学生にうれしい市だね。

Cさん一家



不審者が出るところに公園がある！
なんでだろう...
気をつけなきゃ！

ご相談 コンテストへの市民の参加

アセットマッピング・コンクールで重要になる、アンケートアプリでの意見のつぶやきと、優秀チームへの投票を、有志で市民の方々にご参加頂ければ、さらにワークショップの意義が深まると思います。そこで、市民の皆様から、市民の方々に対して、このワークショップへの参加を促して頂きたいです。

依頼②

コンクールにて...自由に意見を発信



市民①

Aさん一家の発見すごい！

Bさん一家の発見、言われてみたら確かにそうかも...！！



市民②

Cさんの発見、〇〇公園には街灯が少ないからじゃないか？



市民③

⋮

最後には...アンケートアプリで投票



Aさん



Cさん



Cさん

...



最優秀賞
Cさんチーム！

依頼③

コンクールにご参加ください。
また、当コンクール開催のためには**5~10組の参加が必要**です。ご自身はもちろん、周囲の和光市にお住まいの方や通っている方にも声をかけて頂ければ幸いです。

その後...

以上の一連の取り組みで、市の方々から評価を頂けましたら、次は市民の方にも参加して頂く、より規模の大きいワークショップを開催したいと考えております。(オンラインでもオフラインでも) **テーマを市に指定して頂く**など、コンテンツを変化させながら、今後も「アセットマッピング」を利用した地域活性化のための交流・議論の場を提供していく予定です。

…ワークショップで必要になります。

【responの利用は登録不要です！】

①スマートフォン・パソコンのブラウザから回答できます。
右のQRコードまたは下記のURLにアクセスしてください。



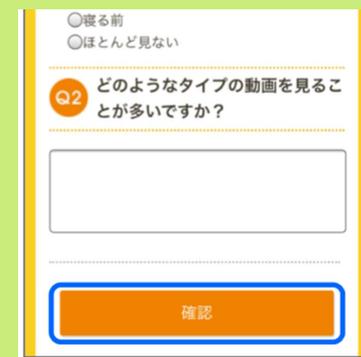
<https://go.respon.jp>

②投票直前に画面に表示される9ケタの番号を入力し、“GO”を押してください。

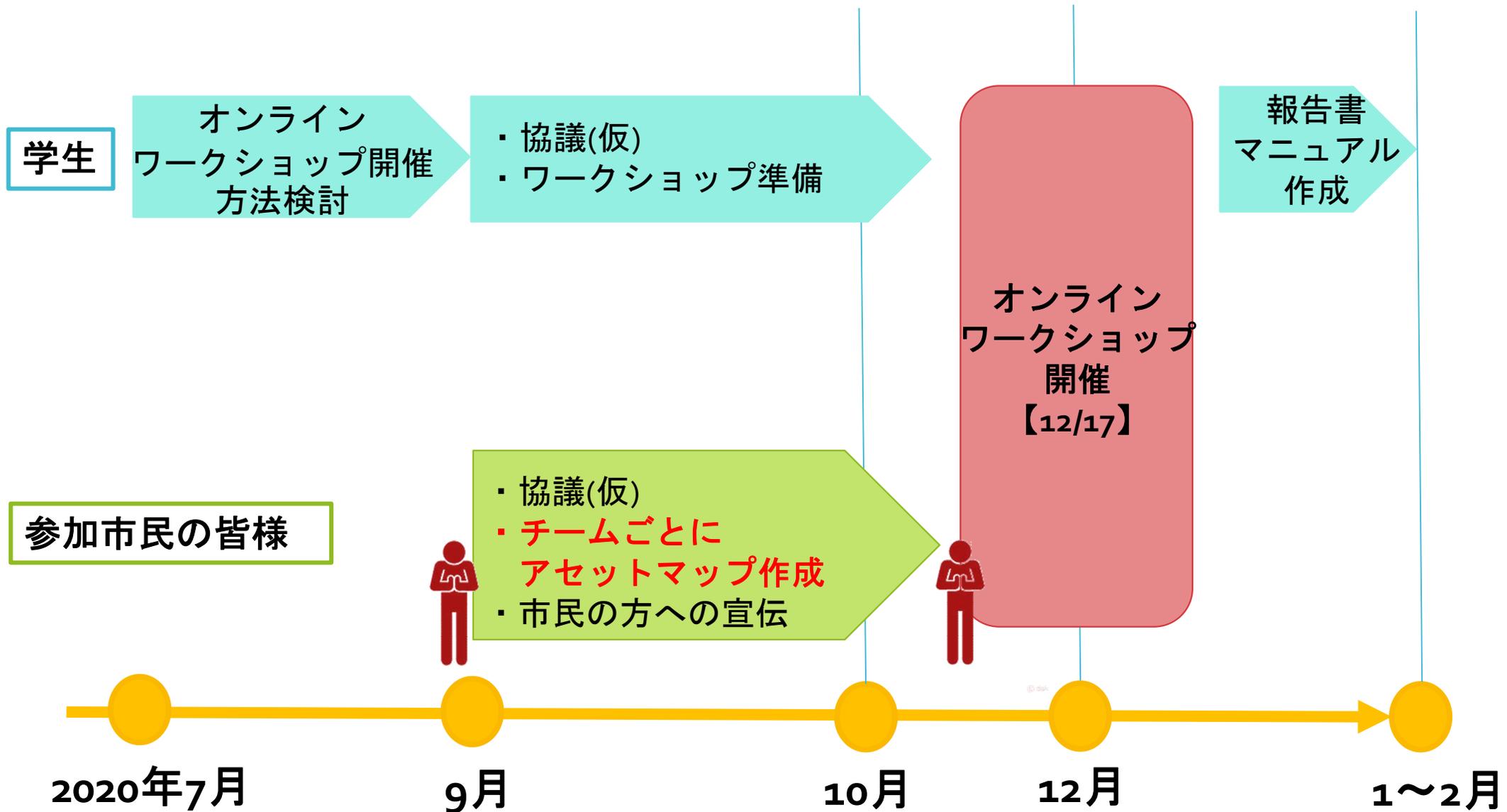


③質問に回答してください。

回答を終えたら、下にある「確認」を押して内容を確認し、次の画面で「提出」を押してください。【投票完了です！】



今後のスケジュール



- 市民が参加できるアセットマッピング・ワークショップ実現の為に、まずは和光市民の皆さんにアセットマッピングの雰囲気や有用性を実感してもらおう。
- そのために有志チームの対抗、完全オンライン・アセットマッピング・コンテストを開催予定。
- 参加市民の皆様へのお願い
 - アセットマッピングをお試し頂く。(詳しい手順などはフォルダをダウンロード)
(9月頃)
 - コンクール(ワークショップ)にご参加頂く。
(12月17日午後開催)
 - 市民のコンクール参加への促しと宣伝のお願い。
 - コンクールでは5組(家族)の参加を予定。
- 今回のワークショップを基に、アセットマッピングを評価して頂き、継続性があれば市民も参加したアセットマッピング・ワークショップ開催を目指す。

～ご協力お願い致します～

1. 経緯

- 地方創生を専門としている東洋大学経済学部根本祐二ゼミナールの学生から、和光市を対象にアセット・マッピング制作プロジェクトを行いたいとの要請があった。
- 市は、学生の新しい発想から地方創生のヒントが得られることを期待して東洋大学との間で協定を締結するとともに、今年度については、アセット・マッピングの実証実験として位置づけ、趣旨に賛同して協力いただける可能性のある市民グループ及び市内事業者の皆さまに個別にお願いしたものである。
- 昨年度は、農林水産政策研究所の「食料品アクセスマップ」から、和光市が埼玉県内において最も買い物難民が発生しやすいというデータ結果に基づき、公共施設を活用した食品スーパー等の誘致について検討を行った。その後市内に2店舗がオープンした。

2. 目的

- 予め学生が制作した地図のほか、参加グループのオリジナル、アセットマップの制作を通じて、従来の手法では気づかなかった新しい発見を市民、行政、あるいは市内事業者といった多様な視点で共有すること。
- 成果を参加グループが互いに発表しあい、市民ワークショップを開催する。ウィズ・コロナの時代におけるリモート・ワークショップの可能性を把握すること。

3. 市内事業所の皆さんの参加を通じて市が確認したいこと

- 地域の特徴を把握することで自社の製商品・サービスの改善のヒントが得られるか。
- 市内事業所で勤務する従業員の方が、市民グループ等と接点をもち、市内のテーマについて課題や成果を共有することで関係人口の増加に向けてのヒントが得られるか。